



第449号 **公益社団法人  
徳島県環境技術センター**

徳島市津田海岸町2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
FAX (088) 636-1122  
発行責任者 大坂利弘  
編集者 原岡艶甲

発行

## 会員意見交換会の開催

徳島地区

徳島県環境技術センターは、8月2日、4階会議室で旧徳島支部地区の会員を対象とした意見交換会を開催した。

この意見交換会は、平成29年度の事業計画とは別に、日頃より会員から旧支部（地区）独自の活動を望む声が寄せられていたため、浄化槽にかかる地域の実情や業界の将来、法人組織の在り方などについて協議していく場として設けたものであり、その結果を今後の法人運営に活かしていくことを目的としている。

徳島地区の意見交換会では、地区会員56社のうち13社が参加し、公益認定を受ける前と受けた後の会員の位置づけや会員としてのメリット、デメリットについて話し合った。

その結果、会費に見合った対価を求める声や、以前のような地域会員同士の連携や親睦を図れる体制づくりを求める声が多かった。

今後、予定している意見交換会でも、同様に各地域の要望事項や組織の在り方について協議していきたいと考えている。

意見交換会は8月から9月までに各地区計9回を予定し、その結果に基づき、理事会で協議した上で、今後の法人運営に反映していくことになる。

### 【意見交換会日程表】

- 8月8日 鳴門（うずしお会館）
- 8月22日 三好（三好市保健センター）
- 8月24日 美馬（うだつアリーナ）
- 9月5日 メーカー（徳島県環境技術センター）
- 9月6日 阿北（文化研修センター）
- 9月8日 海部（阿波海南文化村海南文化館）
- 9月12日 阿南（阿南市情報文化センター）
- 9月20日 小松島（小松島みなと交流センター kocolo）



## 美馬市・つるぎ町の 2協議会の統合が承認

### 「みま水環境保全協議会」が誕生

美馬市浄化槽一括契約推進協議会とつるぎ町浄化槽一括契約推進協議会は7月6日、美馬市脇町の徳島県西部総合県民局で定時総会を合同開催し、平成28年度の事業報告と会計報告を承認するとともに、両協議会の統合と平成29年度の事業計画を承認した。

平成28年度の事業報告では、一括契約数が0件であるとの報告の後、会員から「適正な維持管理の徹底を図るのは行政の役割であり、設置補助金が交付される浄化槽管理者に対しての推進・啓発を特に強化してもらいたい」との意見があり、また他会員からも設置者の浄化槽に対する理解不足について問題提起もあり、一括契約を推進する上での諸課題について県・市町の担当者と意見が交わされた。

次に、第3号議案で「2協議会の統合」について審議した結果、議案は満場一致で承認され、第4号議案では新たな団体の名称と規約について協議し、名称を「みま水環境保全協議会」に決定すると共に、新団体の規約も原案通り承認された。また、新役員の選任が行われ、会長は岩本英司氏（株岩本総業）、副会長は佐藤輝夫氏（有）四国クリーンサービスと岩崎吉春氏（穴吹町衛生組合）の2氏、監事は前川和人（三共総合設備有）と岩井貞子氏（吉野川衛生有）の2氏が満場一致で承認された。

第5号議案の平成29年度事業計画では、一括契約目標数を69件にすることと、広報誌材を活用し、協議会として適正な維持管理を推進することが承認された。

最後に、一括契約を進めるにあたり、美馬市及びつるぎ町の担当者と新たに活用する広報資材について協議すること、並びに地元施工業者との連携強化を進めていくことを確認し、閉会した。



平成29年度

海部郡一括契約協議会  
総会開催

海部郡浄化槽一括契約協議会は6月22日、牟岐町役場において平成29年度の定時総会を開催した。

総会ではまず、平成28年度事業報告並びに会計報告がなされ、平成29年度事業計画の審議・承認に続き、任期満了に伴う役員改選がなされた。

平成28年度の実業報告では、新規契約数は4件であったほか、技術講習会の開催及び特別認定管理士の更新講習会への参加について報告された。

会計報告に続く第3号議案として、平成29年度事業計画が審議され、新たな啓発資材の作成及び牟岐町、美波町、海陽町の広報誌への掲載について、会員の承認並びに本会オブザーバーである各町担当者に了承を得た。

最後の第4号議案では、役員全員の任期満了に伴う新役員選任の件が審議され、次の役員3人が満場一致で選任された。

## 選任された新役員は次のとおり

会 長・宮本賢一氏（宮本水環境サポート代表）  
副会長・原 稔晴氏（水メンテナンス美波代表）  
監 事・高知重徳氏（カイフカンキョウ協業組合副代表）

原副会長は、「適正な維持管理で海部郡のきれいな水環境を保全すると共に、設置者にメリットのある一括契約を積極的に推進していく」と挨拶した。なお8月号の役場広報誌には、3町同時に一括契約についての記事を掲載することが承認され、全ての議案を終了し散会した。

## 効果的な普及啓発手法を協議

## 第1回環境広報委員会を開催

県環境技術センターは、7月27日(木)、平成29年度第1回環境広報委員会を、センター会議室で開催した。

当日は、工藤委員長（宥光エンテックス）以下8名の委員と、川人専務理事、および空保理事が出席し、委員会が開会された。

今回の委員会では、以下の事項について事務局報告、ならびに委員による協議が行われた。

- ① 平成28年度事業実施報告について
- ② 平成29年度実施事業について

## ③ 今後の事業実施計画等について

平成29年度の普及啓発事業の実施について、現在までに実施した各種イベントは、環境講座など親子連れ来訪者に対する啓発活動が中心となっていることが報告された。

今後の活動としては、10月の浄化槽月間を中心として、概ね昨年度同様の啓発活動を実施することが承認された。

続いて出席委員に効果的な普及啓発の手法について意見を求めたところ、各委員から活発な意見が出され、以下のような方法で、積極的に浄化槽をPRすることが提案された。

- ① 市町村役場庁舎への来庁者に対して、役所での待ち時間を利用した、アンケート等の実施による啓発活動を実施してはどうか。
- ② 将来を担った子供への啓発は、非常に有用なものであるため、現在の事業を継続するとともに、中・高生を対象とするなど新たな受け入れ先を検討する。学校授業での受け入れが難しいようであれば、部活動等へのアプローチも検討する。
- ③ 委員会として作成しているリーフレットが分かりやすく、優れた内容であるため、これを大きなパネルにしたものを作成して、役所の庁舎等での掲示を検討し、積極的に浄化槽の啓発を図る。
- ④ アンケートに関しては、合併浄化槽への転換を推進する内容とし、アンケート回答者に対しては、アンケートの解説と、併せて市町村別浄化槽設置相談窓口の資料を作成して配布すれば効果的ではないか。委員からの提案を検討の結果、最優先での取り組みとして、普及啓発用パネルを作成し、啓発活動に活用することとした。

さらに現在、会員事業所を中心として配布している合併浄化槽普及促進用ポスターについて、既に事業所に掲示していただいているところもあるが、更に推進を図るよう、再度連絡等を行うこととなった。

また、主婦層が浄化槽管理者となっていることも多いことから、今後は主婦層に向けた普及啓発も重要であることが確認された。

次回委員会は、浄化槽月間が終了する10月下旬から11月の開催で調整されることとなり、委員会は閉会した。



## 第40回 理事会を開催

県環境技術センターは、7月18日(火)午後2時から理事12名、監事2名の役員全員が出席し、第40回理事会を開催した。



最初に川人専務理事が、定款第40条の定足数を満たしているため理事会が有効である旨を報告した。

続いて、大坂会長が挨拶をした後、議長となり議事を進行した。

### 【第1号議案】入会申し込み企業の承認について

入会申込みのあった、下記企業の入会が満場一致で承認された。

企業名：有限会社尾花工業

代表者：尾花明広

住 所：阿波市阿波町南整理200-14

所 属：施工部会

### 【第2号議案】旅費規程の改定について

第7回社員総会において、役員報酬規則の改定が承認されたが、これに伴い、旅費規程についても現行の10,000円/日から14,000円/日への変更を提案し、異議無く了承された。

### 【第3号議案】旧支部単位での会員意見交換会の開催について

今後のセンターの運営の方向性(会員のメリット等)について、広く会員の意見を聞く必要がある事から、8月・9月の間で地域ごとに意見交換会を開催することを提案、異議無く了承された。なお、会員の業務に配慮し、時間は午後6時から開催することとした。

### 【第4号議案】施工技術委員の変更について

会員企業の人事異動に伴い、新委員としてフジクリン工業(株)の石村純洋氏が推薦され、理事会で承認を受けた。

### 【報告事項】

#### 1) 入会・退会に制限を設ける件

入会の際は、会員の推薦を必要とするなど、何らかの制限を設けることができるかどうか、今後検討する。

#### 2) 保守点検業者の名義貸しの件

保守点検・清掃委員会で再度検討することとした。

#### 3) 執行理事の業務報告の件

資料に基づき、会議への出席等、会長以下執行理事の業務を報告した。

#### 4) 職員採用の件

センターの業務量の拡大に伴い、事務職員1名と検査員2名の募集につき、了承された。

#### 5) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金説明会開催の件

29年6月27日に徳島グランヴィリオホテルで開催し、行政担当者11名、業界関係者32名の出席があったこと

を報告した。

#### 6) 長崎県環境整備事業協同組合視察研修会実施報告の件

6月7日に同組合が来所され、徳島県における浄化槽に関する取り組みを紹介、意見交換を行ったことを報告した。

#### 7) 理事会のスケジュールについて

今後の理事会のスケジュールについて、毎月開催することを確認した。

#### 8) 環境大臣表彰等の推薦について

環境大臣表彰については、川人専務理事を被推薦者とする事が決定、廃棄物・リサイクル対策部長表彰については要件該当者無しで、先送りとなった。

#### 9) 平成29年度浄化槽技術講習会開催の件

平成29年度の講習会の日程と内容について報告し、了承を得た。

以上すべての議案が審議され、午後4時に閉会した。

## 環境講座 美馬市を 考えよう!

当センターは平成29年7月29日に美馬市立脇町図書館に於いて環境講座を開催した。

今回の環境講座は、美馬地区消費生活センター・美馬市立脇町図書館主催の環境講座にみずすまし隊が講師依頼を受け実施した新たな企画である。

折りしも夏休み期間という事もあり、親子で参加できる、環境講座とエコ工作をセットにしたものを提案した。

環境講座では、美馬市の污水処理人口普及率が49.8%と半分以上の世帯が未処理のまま生活排水を流しているなど、美馬市の污水処理状況について説明。その他「浄化槽ってすごいんじょ!」と題し浄化槽の仕組みや性能、微生物の話、水を汚す原因について解説した。最後に今日からできるエコロジーについて私たちの出来る事を提案し、締めくくった。

さらに、生き物による浄化作用を実感してもらうために、アサリを用いた水質浄化実験も実施した。

続いてエコを身近に親んでもらうために、「紙が変身! プレスレットを作ろう」というタイトルで、家で余っている広告や包装紙を使ってペーパービーズを作り、オリジナルプレスレットを作成した。

この講座では、地域に密着した污水処理状況の話や、生活排水を未処理で放流している家庭で、実際に生活に取り入れてもらいたい事など一歩踏み込んだ内容を取り入れることができ、参加者に身近な内容として捉えて頂くことができたのではないだろうか。

なお講座の内容は、テレビ阿波(株)のTV-AWA TWO WEEKS NEWSで放送される予定となっている。





## 夏休み 環境学習出前講座

平成29年7月26日に徳島県立図書館にて、小学生とその保護者を対象とした『汚水の話』の出前講座を開催した。

徳島県と当センター及び徳島県建設技術センター三者が連携し、夏休み期間を利用して毎年実施している講座で、座学と体験から構成されている。

まず「座学」では、水は限られた資源であることや、水は地球上を循環していること、水を一番汚している原因などをクイズ形式で考えたり、下水道・浄化槽で汚水がきれいになる仕組みを写真やイラストを使って解説している。また徳島県における『汚水処理人口普及率』が14年連続全国最下位などの現状をとりあげ、これからの汚水処理の在り方を考える題材を提供している。

引き続き「体験」では、水質浄化実験を実施した。フィルターを使ったろ過実験であるが、浄化できたかどうか手作りのあめんぼを使って確認する。これは、よごれの要因として洗剤を使用するが、洗剤を滴下しても見た目には変化がないため、表面張力を利用して確認している。

また、生物による水質浄化実験として「あさり」の浄化実験も実施した。これは汚水処理の基本が生き物による浄化の力であることが理解出来るため格好の題材である。

今回、夏休みの宿題の参考に参加された親子連れの方が多かったが、徳島県の汚水処理施設の状況などを知ってもらい良い機会になったのではないかとと思われる。ぜひ学んだことを学校で発表し、多くの生徒に汚水のことを知ってもらい機会となることを期待したい。



### 入会会員企業紹介

平成 29 年 7 月 18 日の理事会において次の企業の入会が承認されました。

企業名：有限会社 尾花工業

代表者：尾花 明広

住 所：阿波市阿波町南整理 200 番地の 14

電 話：0883-35-2329

所属部会：施工部会

## 水 質 計 量 便 り

### 『海岸生物調査』

～磯の生物による水質・生物環境の判定講座～

毎日猛暑が続いていますが、暑さに負けず、今年もみずすまし隊は「夏休み子供科学実験教室」を開催しました。昨年からフィールド活動を取り入れ、『海岸生物調査』にチャレンジしています。

昨年は初めての試みという事もあり、みずすまし隊も、参加していただいた方に十分な説明をすることが出来ませんでした。

そこで、今年は『指導者育成』を目的とした徳島県主催の海岸生物調査に、私を含めみずすまし隊 7 名で参加してきました！(^^)！。

阿南工業高等専門学校の大田先生が講師を務められ、生物調査の講義を受けた後、実際に北の脇海水浴場南の磯にバスで移動し現地では指導を受けました。

指標となる海岸生物の見分け方のポイントや、生息する場所、生態の様子など、現地ですべて見ながら説明を受けると、とても分かりやすかったです。

けれど…カサガイ類を見分けることは、似過ぎてやはり難しかったです(――;)。

また、評価方法の一つである、磯場に生息する生物量などは、感覚的な要因が大きいため、実際に見るといことはとても重要と実感しました。自分の感覚との違いに驚いたほどです(@\_@;)。

生物調査終了後には、まとめの集計を実施しました。もちろん阿南の海は、水質の評価は A 判定の大変きれいな海で、生物環境の評価においても A 判定で大変豊かという結果になりました。県南の海はさすがです!!!

今回参加して、自然界の生き物は決して写真の通りでないことを実感しました。殻表がガタガタしている放射肋が特徴の貝も、波などで擦り減ったり、海藻が表面に生えていたり、惑わされます。生き物観察は本当に奥が深いですね。

by koizumi

## 事務局だより

### 法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。



#### ○11条検査

日程：平成29年9月11日～平成29年10月6日

地区：鳴門市・小松島市・三好市・藍住町・北島町・松茂町・板野町・上板町・

石井町・勝浦町・上勝町・東みよし町・佐那河内村

#### ○7条検査

日程：平成29年9月11日～平成29年10月6日

地区：藍住町・北島町・上板町・石井町・

神山町・佐那河内村

#### ○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：平成29年9月11日～平成29年10月6日

地区：那賀町全域

#### ○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：平成29年9月11日～平成29年10月6日

地区：神山町全域

